はじめに

院内がん登録という言葉を聞いて、何を連想しますか？

文字どおり病院の中でやっている「がん」の登録なのでしょうか

数字がいっぱい並んでいるし　細かいルールが多そうです

ここでは　むずかしく考えずに

「がん登録の使者」である「イダイーず」と一緒に集計表を見てみましょう

※より詳細な集計をご覧になりたい方は「集計詳細版」を参照願います

とうろっくま
くまの姿を借りた「院内がん登録」の使者
がん対策基本法が施行された2007年から
山梨大学医学部附属病院のがん登録室に生息
山梨県産ぶどうの果汁ーシャ（カチューシャ）が目印

ゆーあいしーしか
しかの姿を借りた「病期分類」の使者
UICC（国際対がん連合）のルールで
がんの進行度合い（ステージ）をつける
山梨県産ももの果汁ーシャ（カチューシャ）が目印

とりあつかいけん
甲斐犬の姿を借りた「がん取扱い規約」の使者
日本の各種がん関連学会のルールで医師の教科書的なもの
病期分類はUICCと似ているけど　日本にあわせて変えているところも
山梨県産さくらんぼの果汁ーシャ（カチューシャ）が目印

3人あわせて　イダイーず　です
よろしくお願いします

院内がんとは　がん医療における利点とデータの二次利用のお知らせ

むずかしく考えず…と言っているそばから　字が小さくてすみません

細かい説明ですが　だいじなことなので最初に記させてください

院内がん登録は日本全国の「がん診療連携拠点病院等」で行われ

国立がん研究センターにて集計を行っています

大切な患者さんの情報を　医療者はもちろん

患者さんにも役立てられるように　ご協力をお願いいたします

◆ 院内がん登録とは

がんと診断された患者さんの基礎的なデータを病院として集積し、がん診療の実態を明らかにするしくみです。
「がん登録等の推進に関する法律」では、がん診療に重要な役割を担う施設での義務とされています。
院内がん登録は法律に基づき各施設において実施され、毎年、国立がん研究センターに氏名などの個人識別情報を削除した上で提出、全国の病院における診療件数などの集計が報告書として公表されています。
院内がん登録についてお知りになりたい方は、以下のURLあるいは2次元バーコードを使って
「がん情報サービス」をご覧ください。

◆ 院内がん登録３つのメリット

1. 国や地方病院ごとの特徴や課題が明らかになり医療の質向上や研究の資料になる
2. 公共団体ががん対策を計画・実施する際の根拠となる
3. 集計を使って受診先選択の参考とすることができる

◆ 院内がん登録全国収集データの二次利用について

国立がん研究センターに提出された院内がん登録データは報告書を作成するだけでなく二次利用として
① データのより詳細な集計や研究解析を行って実態を検討する
② 全国規模で対象を選び病院からアンケートをお送りして意見をうかがうなどの活動を通じて、
国全体で、より良いがん医療、がん対策に役立てることが期待されています。
これらの二次利用は定められた審査を経て行われるものですが、もし自分に関する情報が二次利用に使われたくない場合は当院の窓口へお申し出ください。
データの管理や制度の詳細は国立がん研究センターがん情報サービスをご覧ください。
必要に応じお問い合わせフォームもご活用ください。
なお、上記は全般の情報ですが、個別の研究については、各研究者の所属機関における倫理審査委員会の指示に従い情報公開等を行います。

当院窓口：医事課　院内がん登録室

mail:shuyocenter@yamanashi.ac.jp

院内がん登録について　https://ganjoho.jp/public/institution/registry/hospital.html

がん情報サービス お問い合わせフォーム
https://contact.ganjoho.jp/form/pub/ganjoho/contact

まめちしき

集計期間はいつから？　院内がん登録の歴史

2007年　がん対策基本法施行　をきっかけに
全国の　がん診療連携拠点病院　ではじまりました

2016年からは　がん登録等の推進に関する法律
が新たに施行され　登録するためのルールも
それに伴って変更されました

登録対象は？

当院で「はじめて」　がん　と診断
または　治療が行われた症例　が登録対象です

当院でのがん治療が一区切りついたあと
再発などで同じがん種について再び当院で治療を受けているものは原則再登録はされません

再発だったら
絶対に登録されないってことかな？

そうとも限らないよ
登録対象かは　当院で　「はじめて」
そのがんを扱うかが　ポイントになるよ

再発でも　初回の治療が　他の病院で行われてて
当院では　「はじめて」　診る場合は　登録対象だよ

患者ひとりにつき１回の登録ではなく　腫瘍ごとに登録します

がん登録は１つの腫瘍に対して１回行われます

たとえば　同じ患者さんに
胃がんと大腸がん　が同時に発見された場合は
胃がんと大腸がん　の２つを登録します

患者さんの人数　イコール　がん登録数
には　ならない　ってことだね

登録したのに　集計されないものもあります

当院に　がんの診断 または治療目的で来院 したけど
当院では　診断も治療も行われなかった症例は

登録はしますが　集計には反映されません

診断をつけるための精密検査を希望されなかったり
県外の病院に紹介になったりなど
様々な理由で　集計対象外になるもの　があります

登録様式と項目数は？

国立がん研究センターで定められた
「標準登録様式」で登録されます
105項目あり、１つ１つに登録のためのルールが
決まっています

他の病院と比較・分析　するために
統一された様式で登録しているんだね

誰が登録しているの？

山梨大学医学部附属病院では
国立がん研究センターの院内がん登録実務中級認定試験に
合格した診療情報管理士が登録しています

がん治療は　どんどん進化しているけど
認定試験は一度だけ受かればいいのかな？

４年に１回更新試験があるよ
ここだけの話　すっごくむずかしいよ！

患者さんの大事な情報を正しく扱うために
登録のための事務的なルールはもちろん
全身の解剖生理　がんの組織形態　治療方法などの
知識を有する者が登録に携わる制度になっています

がん診療連携拠点病院では　１名以上の院内がん登録
実務中級認定者の配置が義務付けられています

がん診療連携拠点病院とは？

全国どこでも質の高い　がん医療　が受けられるように
厚生労働省の指定を受けた病院のことです
2025年2月現在　全国で　461か所　あります

がん診療連携拠点病院では
有資格者による統一したルールでの
院内がん登録が行われているんだね

集計結果の公表までには２～３年かかります

公表までには　たくさんの工程　があります

診断から約５か月後
初回治療が一区切りつくタイミングで登録開始

診断翌年
１年分の登録をまとめて国立がん研究センターに提出

診断から２～３年後
国立がん研究センターの集計が公表されたあとに
公表結果を確認しながら当院ホームページ用集計
が行われます

膨大なデータを１つずつ確認しています
公表までしばらくお待ちください

件数が５以下の場合は表示されません

個人が特定されることを防止するために
件数が　５以下　のものは
表示されません

そのほか　がん登録特有のルールがあります
あらかじめ　ご了承願います

＜院内がん登録　病院ホームページ　公開データー覧＞

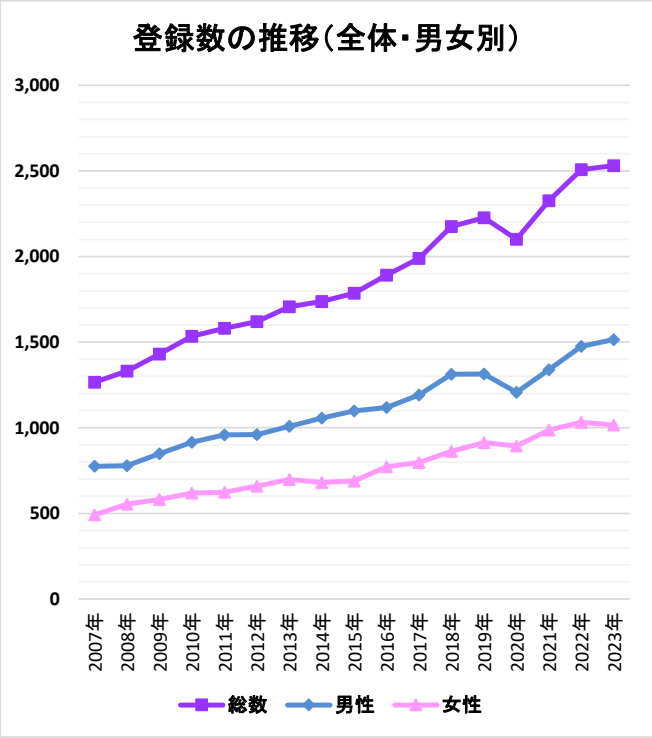
連番	項目名	診断年	掲載ページ数
1	はじめに		1
2	院内がん登録とは		2
3	まめちしき		3
4	登録数の推移・全体・男女別・対前年増加率	2007～2023年	8
5	登録数の推移・主な部位・対前年増加率	2007～2023年	9
6	発見経緯		12
7	胃・発見経緯	2016～2023年	13
8	大腸・発見経緯	2016～2023年	14
9	肺・発見経緯	2016～2023年	15
10	乳房・発見経緯	2016～2023年	16
11	肝・発見経緯	2016～2023年	17
12	子宮頸部・発見経緯	2016～2023年	18
13	前立腺・発見経緯	2016～2023年	19
14	主要5部位病期 UICC8版（2018年～）	2018～2023年	20
15	胃癌・病期 UICC8版（2018年～）	2018～2023年	22
16	大腸癌・病期　UICC8版（2018年～）	2018～2023年	24
17	肝細胞癌・病期　UICC8版（2018年～）	2018～2023年	26
18	肺癌（非小細胞癌）　UICC8版・病期（2018年～）	2018～2023年	29
19	肺癌（小細胞癌）　UICC8版・病期（2018年～）	2018～2023年	31
20	乳癌・病期　UICC8版（2018年～）	2018～2023年	33
21	初回治療情報	2016～2023年	35
22	全体・初回治療情報	2016～2023年	37
23	胃癌・初回治療情報	2016～2023年	38
24	大腸癌・初回治療情報	2016～2023年	39
25	肝細胞癌・初回治療情報	2016～2023年	40
26	肺癌（非小細胞癌）・初回治療情報	2016～2023年	41
27	肺癌（小細胞癌）・初回治療情報	2016～2023年	42
28	乳癌・初回治療情報	2016～2023年	43
29	おわりに		44

登録数の推移（全体・男女別）

診断年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
総数	1,266	1,331	1,430	1,534	1,581	1,620	1,706	1,738	1,786	1,891	1,989	2,175	2,227	2,101	2,326	2,507	2,531
男性	775	778	849	915	958	961	1,008	1,057	1,098	1,119	1,192	1,312	1,314	1,207	1,339	1,475	1,515
女性	491	553	581	619	623	659	698	681	688	772	797	863	913	894	987	1,032	1,016

【対前年増加率】

診断年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
総数	－	5.1%	7.4%	7.3%	3.1%	2.5%	5.3%	1.9%	2.8%	5.9%	5.2%	9.4%	2.4%	-5.7%	10.7%	7.8%	1.0%
男性	－	0.4%	9.1%	7.8%	4.7%	0.3%	4.9%	4.9%	3.9%	1.9%	6.5%	10.1%	0.2%	-8.1%	10.9%	10.2%	2.7%
女性	－	12.6%	5.1%	6.5%	0.6%	5.8%	5.9%	-2.4%	1.0%	12.2%	3.2%	8.3%	5.8%	-2.1%	10.4%	4.6%	-1.6%



山梨大学医学部附属病院　院内がん登録件数　は
全体で2007年から　約２倍　増加しています

2020年に　登録数が減少しているのは
新型コロナウイルス感染症の影響を受けた可能性があります

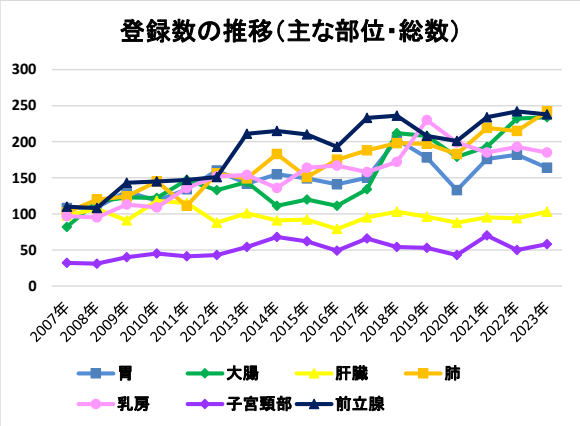
登録数の推移（主な部位）

≪総数≫

診断年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2022年拠点病院平均（5部位のみ）
胃	108	109	131	118	134	160	142	155	149	141	150	203	178	133	176	182	164	150
大腸	82	117	123	122	147	133	144	111	120	111	134	212	208	179	193	232	234	238
肝臓	98	107	91	118	115	88	101	91	92	79	95	103	96	88	95	94	103	49
肺	102	120	124	145	111	156	149	183	151	175	188	198	197	183	219	215	242	198
乳房	97	95	113	109	136	152	154	136	164	167	158	172	230	199	185	193	185	192
子宮頸部	32	31	40	45	41	43	54	68	62	49	66	54	53	43	70	50	58	
前立腺	110	108	143	145	147	151	211	215	210	193	233	236	208	201	234	242	238	

【対前年増加率】

診断年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
胃	－	0.9%	20.2%	−9.9%	13.6%	19.4%	−11.3%	9.2%	−3.9%	−5.4%	6.4%	35.3%	−12.3%	−25.3%	32.3%	3.4%	−9.9%
大腸	－	42.7%	5.1%	−0.8%	20.5%	−9.5%	8.3%	−22.9%	8.1%	−7.5%	20.7%	58.2%	−1.9%	−13.9%	7.8%	20.2%	0.9%
肝臓	－	9.2%	−15.0%	29.7%	−2.5%	−23.5%	14.8%	−9.9%	1.1%	−14.1%	20.3%	8.4%	−6.8%	−8.3%	8.0%	−1.1%	9.6%
肺	－	17.6%	3.3%	16.9%	−23.4%	40.5%	−4.5%	22.8%	−17.5%	15.9%	7.4%	5.3%	−0.5%	−7.1%	19.7%	−1.8%	12.6%
乳房	－	−2.1%	18.9%	−3.5%	24.8%	11.8%	1.3%	−11.7%	20.6%	1.8%	−5.4%	8.9%	33.7%	−13.5%	−7.0%	4.3%	−4.1%
子宮頸部	－	−3.1%	29.0%	12.5%	−8.9%	4.9%	25.6%	25.9%	−8.8%	−21.0%	34.7%	−18.2%	−1.9%	−18.9%	62.8%	−28.6%	16.0%
前立腺	－	−1.8%	32.4%	1.4%	1.4%	2.7%	39.7%	1.9%	−2.3%	−8.1%	20.7%	1.3%	−11.9%	−3.4%	16.4%	3.4%	−1.7%



山梨大学医学部附属病院　2023年
主な部位　　登録数の多い順

肺がん
前立腺がん
大腸がん
乳がん
胃がん
肝臓がん
子宮頸がん
拠点病院の平均と比べると　肝臓がん　が多いのが特徴

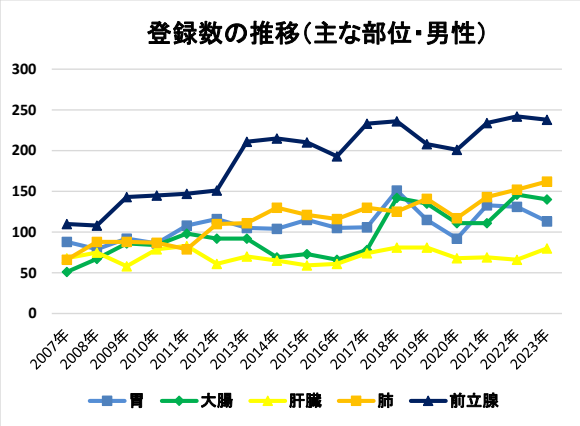
登録数の推移（主な部位）

≪男性≫

診断年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
胃	88	79	92	86	108	116	105	104	115	105	106	151	115	92	133	131	113
大腸	51	67	86	84	98	92	92	69	73	66	78	142	135	111	111	146	140
肝臓	68	75	58	79	83	61	70	65	59	61	74	81	81	68	69	66	80
肺	66	88	88	87	79	110	111	130	121	116	130	125	141	117	143	152	162
前立腺	110	108	143	145	147	151	211	215	210	193	233	236	208	201	234	242	238

【対前年増加率】

診断年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
胃	－	−10.2%	16.5%	−6.5%	25.6%	7.4%	−9.5%	−1.0%	10.6%	−8.7%	1.0%	42.5%	−23.8%	−20.0%	44.6%	−1.5%	−13.7%
大腸	－	31.4%	28.4%	−2.3%	16.7%	−6.1%	0.0%	−25.0%	5.8%	−9.6%	18.2%	82.1%	−4.9%	−17.8%	0.0%	31.5%	−4.1%
肝臓	－	10.3%	−22.7%	36.2%	5.1%	−26.5%	14.8%	−7.1%	−9.2%	3.4%	21.3%	9.5%	0.0%	−16.0%	1.5%	−4.3%	21.2%
肺	－	33.3%	0.0%	−1.1%	−9.2%	39.2%	0.9%	17.1%	−6.9%	−4.1%	12.1%	−3.8%	12.8%	−17.0%	22.2%	6.3%	6.6%
前立腺	－	−1.8%	32.4%	1.4%	1.4%	2.7%	39.7%	1.9%	−2.3%	−8.1%	20.7%	1.3%	−11.9%	−3.4%	16.4%	3.4%	−1.7%



山梨大学医学部附属病院　2023年
主な部位　男性　　登録数の多い順

前立腺がん
肺がん
大腸がん
胃がん
肝臓がん

前立腺がん　が多い傾向です

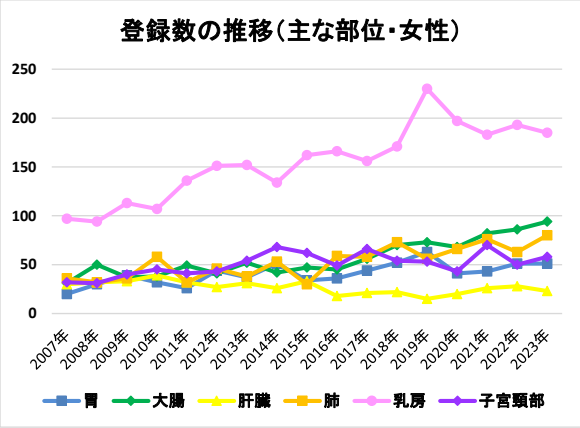
登録数の推移（主な部位）

≪女性≫

診断年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
胃	20	30	39	32	26	44	37	51	34	36	44	52	63	41	43	51	51
大腸	31	50	37	38	49	41	52	42	47	45	56	70	73	68	82	86	94
肝臓	30	32	33	39	32	27	31	26	33	18	21	22	15	20	26	28	23
肺	36	32	36	58	32	46	38	53	30	59	58	73	56	66	76	63	80
乳房	97	94	113	107	136	151	152	134	162	166	156	171	230	197	183	193	185
子宮頸部	32	31	40	45	41	43	54	68	62	49	66	54	53	43	70	50	58

【対前年増加率】

診断年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
胃	－	50.0%	30.0%	−17.9%	−18.8%	69.2%	−15.9%	37.8%	−33.3%	5.9%	22.2%	18.2%	21.2%	−34.9%	4.9%	18.6%	0.0%
大腸	－	61.3%	−26.0%	2.7%	28.9%	−16.3%	26.8%	−19.2%	11.9%	−4.3%	24.4%	25.0%	4.3%	−6.8%	20.6%	4.9%	9.3%
肝臓	－	6.7%	3.1%	18.2%	−17.9%	−15.6%	14.8%	−16.1%	26.9%	−45.5%	16.7%	4.8%	−31.8%	33.3%	30.0%	7.7%	−17.9%
肺	－	−11.1%	12.5%	61.1%	−44.8%	43.8%	−17.4%	39.5%	−43.4%	96.7%	−1.7%	25.9%	−23.3%	17.9%	15.2%	−17.1%	27.0%
乳房	－	−3.1%	20.2%	−5.3%	27.1%	11.0%	0.7%	−11.8%	20.9%	2.5%	−6.0%	9.6%	34.5%	−14.3%	−7.1%	5.5%	−4.1%
子宮頸部	－	−3.1%	29.0%	12.5%	−8.9%	4.9%	25.6%	25.9%	−8.8%	−21.0%	34.7%	−18.2%	−1.9%	−18.9%	62.8%	−28.6%	16.0%



山梨大学医学部附属病院　2023年
主な部位　女性　　登録数の多い順

乳がん
大腸がん
肺がん
子宮頸がん
胃がん
肝臓がん

乳がん　が多い傾向です

発見経緯

がん発見の　きっかけ　のことを指します
早期発見のために

がん検診・健康診断・人間ドック　が推奨されています

自覚症状がきっかけだったときは
どのように登録されるの？

症状があって受診した結果　がんだった　というときは

「その他」で登録されるよ

他疾患経過観察中　は
他の病気の検査をしたら　偶然がん　が
見つかったってこと？

それもあるけど　がんの精密検査をした結果
そのときは　がん　ではなかったけど
その後　定期的に経過を追ってみたら
大きくなっていったりして　がん　になったものも
「他疾患経過観察中」で登録されるよ

がん登録特有のルール　があるんだね

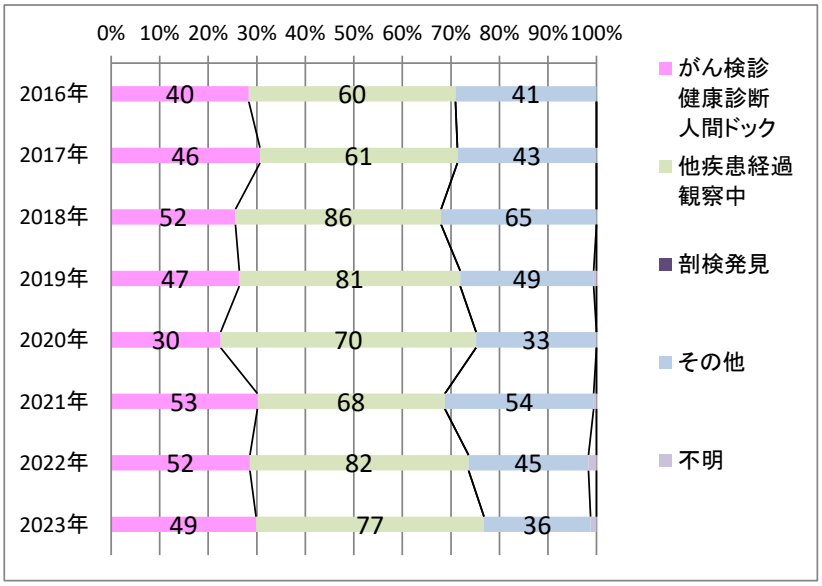
国立がん研究センターの
標準登録様式　でルールが定められているよ

みんなが同じルールで登録することで
比較ができるようにしているよ

主な部位の発見経緯（2016年～）

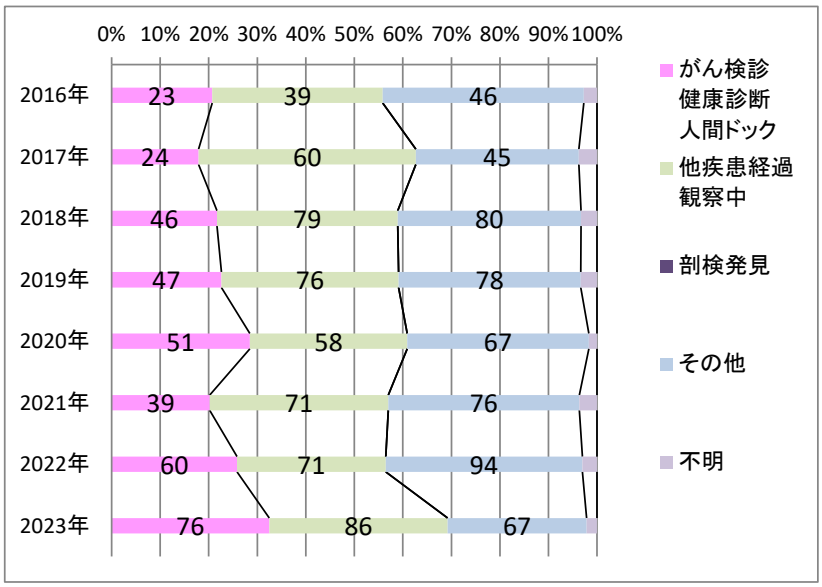
≪胃・発見経緯≫

発見経緯	総数	がん検診健康診断人間ドック	他疾患経過観察中	剖検発見	その他	不明	検診発見の割合
2016年	141	40	60	0	41	0	28.4%
2017年	150	46	61	0	43	0	30.7%
2018年	203	52	86	0	65	0	25.6%
2019年	178	47	81	0	49	--	26.4%
2020年	133	30	70	0	33	0	22.6%
2021年	176	53	68	0	54	--	30.1%
2022年	182	52	82	0	45	--	28.6%
2023年	164	49	77	0	36	--	29.9%



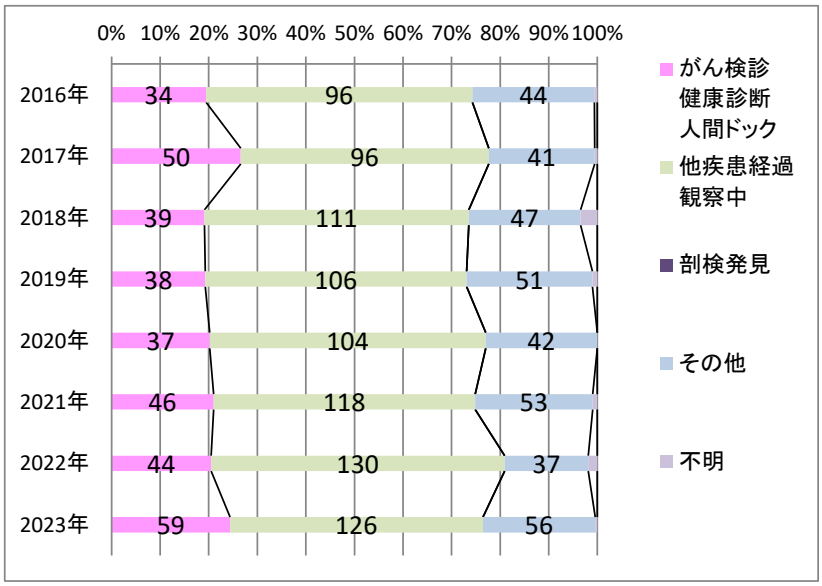
≪大腸・発見経緯≫

発見経緯	総数	がん検診健康診断人間ドック	他疾患経過観察中	剖検発見	その他	不明	検診発見の割合
2016年	111	23	39	0	46	--	20.7%
2017年	134	24	60	0	45	--	17.9%
2018年	212	46	79	0	80	7	21.7%
2019年	208	47	76	0	78	7	22.6%
2020年	179	51	58	0	67	--	28.5%
2021年	193	39	71	0	76	7	20.2%
2022年	232	60	71	0	94	7	25.9%
2023年	234	76	86	0	67	--	32.5%



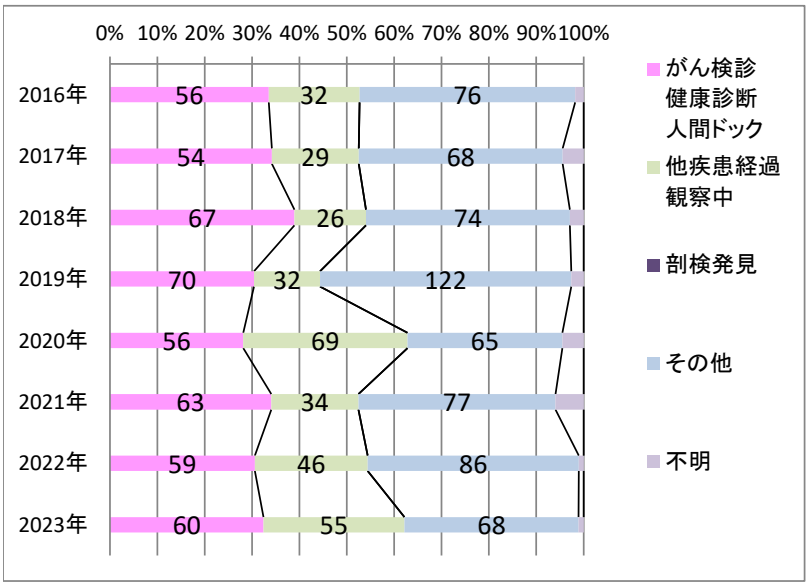
≪肺・発見経緯≫

発見経緯	総数	がん検診健康診断人間ドック	他疾患経過観察中	剖検発見	その他	不明	検診発見の割合
2016年	175	34	96	0	44	--	19.4%
2017年	188	50	96	0	41	--	26.6%
2018年	198	39	111	0	47	7	19.7%
2019年	197	38	106	0	51	--	19.3%
2020年	183	37	104	0	42	0	20.2%
2021年	219	46	118	0	53	--	21.0%
2022年	215	44	130	0	37	--	20.5%
2023年	242	59	126	0	56	--	24.4%



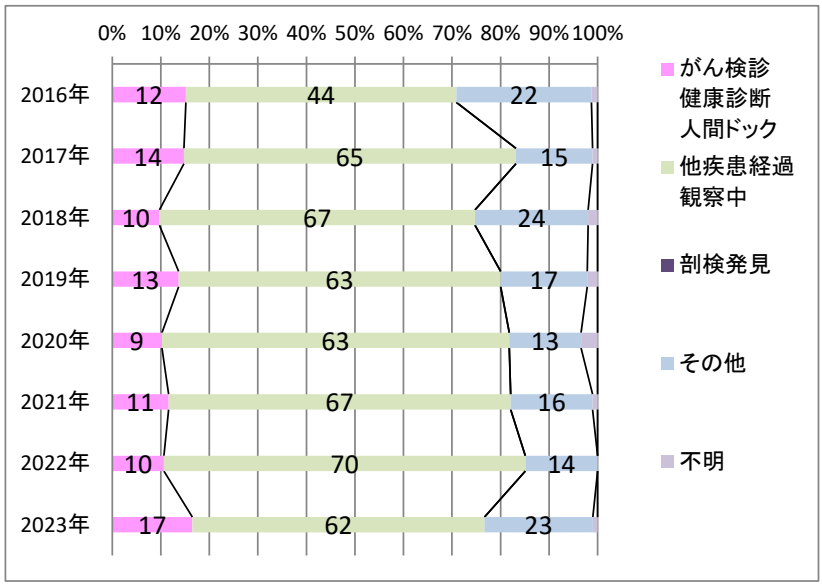
≪乳房・発見経緯≫

発見経緯	総数	がん検診健康診断人間ドック	他疾患経過観察中	剖検発見	その他	不明	検診発見の割合
2016年	167	56	32	0	76	--	33.5%
2017年	158	54	29	0	68	7	34.2%
2018年	172	67	26	0	74	--	39.0%
2019年	230	70	32	0	122	6	30.4%
2020年	199	56	69	0	65	9	28.1%
2021年	185	63	34	0	77	11	34.1%
2022年	193	59	46	0	86	--	30.6%
2023年	185	60	55	0	68	--	32.4%



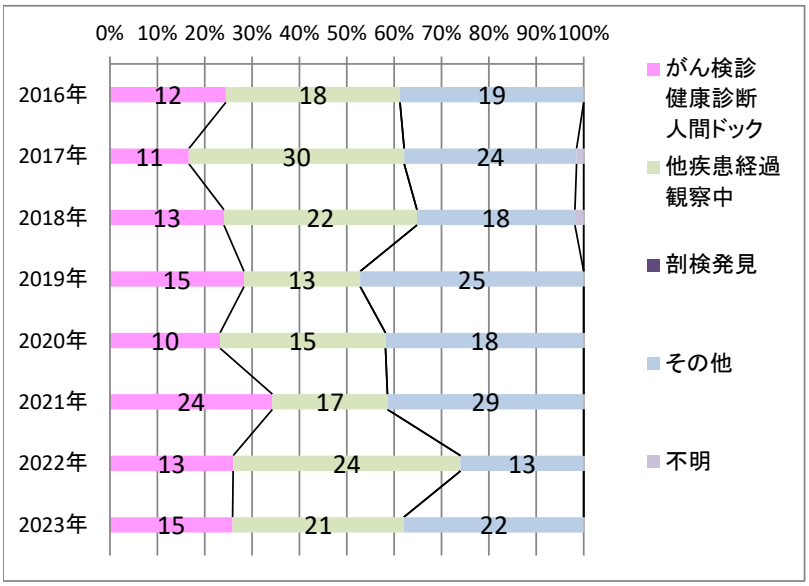
≪肝・発見経緯≫

発見経緯	総数	がん検診 健康診断 人間ドック	他疾患経過 観察中	剖検発見	その他	不明	検診発見の 割合
2016年	79	12	44	0	22	--	15.2%
2017年	95	14	65	0	15	--	14.7%
2018年	103	10	67	0	24	--	9.7%
2019年	95	13	63	0	17	--	13.7%
2020年	88	9	63	0	13	--	10.2%
2021年	95	11	67	0	16	--	11.6%
2022年	94	10	70	0	14	0	10.6%
2023年	103	17	62	0	23	--	16.5%



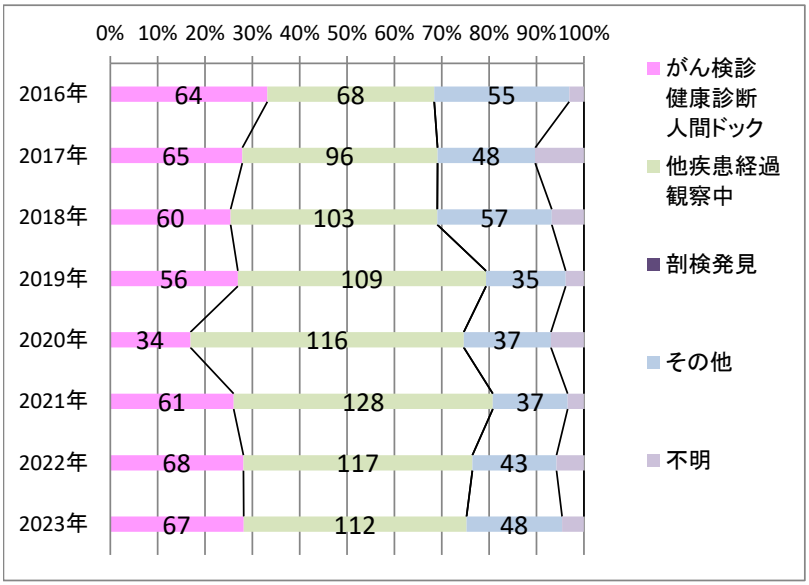
≪子宮頸部・発見経緯≫

発見経緯	総数	がん検診 健康診断 人間ドック	他疾患経過 観察中	剖検発見	その他	不明	検診発見の 割合
2016年	49	12	18	0	19	0	24.5%
2017年	66	11	30	0	24	--	16.7%
2018年	54	13	22	0	18	--	24.1%
2019年	53	15	13	0	25	0	28.3%
2020年	43	10	15	0	18	0	23.3%
2021年	70	24	17	0	29	0	34.3%
2022年	50	13	24	0	13	0	26.0%
2023年	58	15	21	0	22	0	25.9%



≪前立腺・発見経緯≫

発見経緯	総数	がん検診健康診断人間ドック	他疾患経過観察中	剖検発見	その他	不明	検診発見の割合
2016年	193	64	68	0	55	6	33.2%
2017年	233	65	96	0	48	24	27.9%
2018年	236	60	103	0	57	16	25.4%
2019年	208	56	109	0	35	8	26.9%
2020年	201	34	116	0	37	14	16.9%
2021年	234	61	128	0	37	8	26.1%
2022年	242	68	117	0	43	14	28.1%
2023年	238	67	112	0	48	11	28.2%



病期分類別集計・主要５部位

主要５部位とは
胃癌・大腸癌・肝細胞癌・肺癌・乳癌　を指します

がんの進行の度合いは　ステージで表します
０期～Ⅳ期までで　数字が大きいほど進行しています

院内がん登録　では
UICC（国際対がん連合）第８版　のルール　で
病期分類をしてステージをつけています

ステージは　治療前　と　術後病理学的　の２回
登録します

日本では各種がん学会で定められた
取扱い規約　のステージがつけられることが多く
カルテの記載は　取扱い規約のステージのこともあります

UICCと取扱い規約では
ちょっと違うルールのことがあります

このため　院内がん登録実務認定者　は
すべての　登録対象のカルテを読んで
１つ１つ　病期分類を行っています

肝細胞癌　は　日本と欧米とで状況が大きく異なり
取扱い規約　と　UICC の違い　も大きいです

このため　肝細胞癌　は　治療前ステージについて
UICCと取扱い規約の　両方　が登録されています

病期分類別集計・集計対象

部位別の登録数と病期分類の合計が違うのはなぜ？

病期分類では　当院で初回治療を行ったものだけ　が
集計対象になります

診断のみ　または　他院で初回治療をされたもの　は
登録はしていますが　病期分類の　集計からは除かれます

それと　UICCでは　がんの組織形態
（細胞の種類や悪性度）によって

適用されるルールが異なります

主要５部位では　「癌腫」　が病期分類の
集計・公表対象になります

癌腫とは？　がん　と　癌　のちがい

人体の組織のうち
胃や大腸　肺　などの　上皮組織からできた
悪性腫瘍のことを　癌腫　といいます
漢字の　癌　は　　癌腫　のことを指します

癌腫のほかにも　悪性腫瘍には
上皮ではない組織の骨や血管　脂肪組織にできる肉腫
胸膜・腹膜にできる中皮種

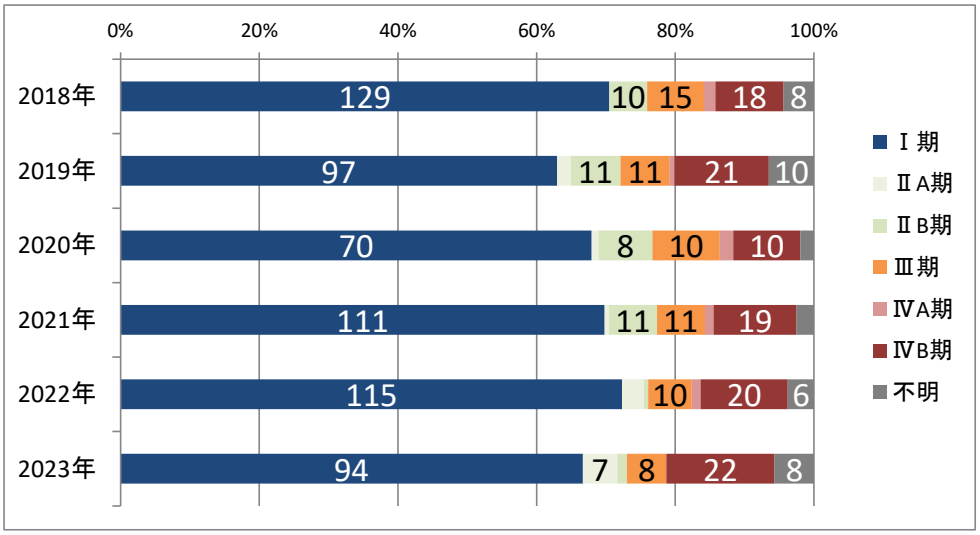
白血病や悪性リンパ腫などの造血器腫瘍があります

これらの悪性腫瘍のすべてを表すときは
ひらがなの　がん　を使います

≪胃癌≫

胃癌登録数(自施設初回治療、癌腫):UICC-TNM分類　治療前ステージ別

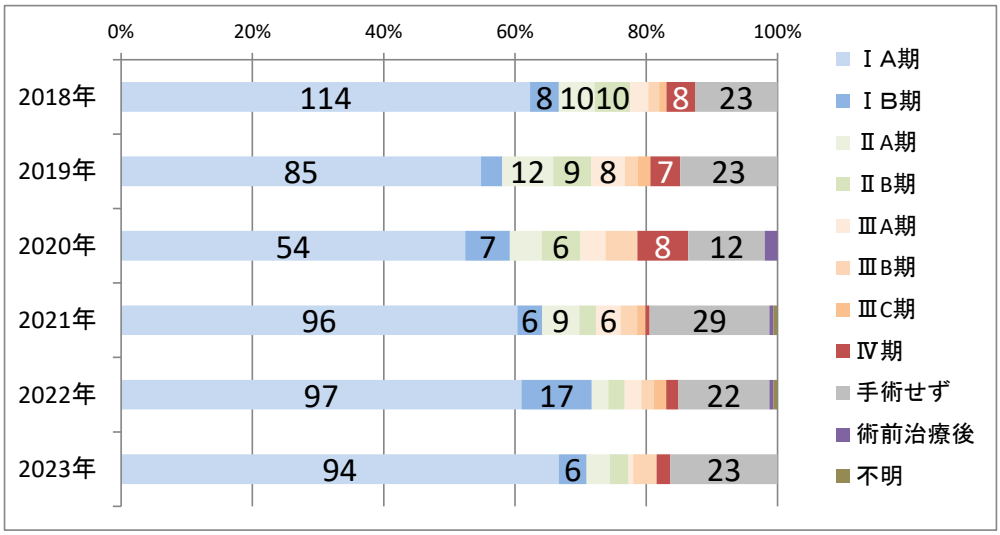
臨床病期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	登録数の推移
Ⅰ期	129	97	70	111	115	94	
ⅡA期	0	--	--	--	--	7	
ⅡB期	10	11	8	11	--	--	
Ⅲ期	15	11	10	11	10	8	
ⅣA期	--	--	--	--	--	0	
ⅣB期	18	21	10	19	20	22	
不明	8	10	--	--	6	8	
総計	**183**	**154**	**103**	**159**	**159**	**141**	



≪胃癌≫

胃癌登録数(自施設初回治療、癌腫、原発巣切除):UICC-TNM分類　術後病理学的ステージ別

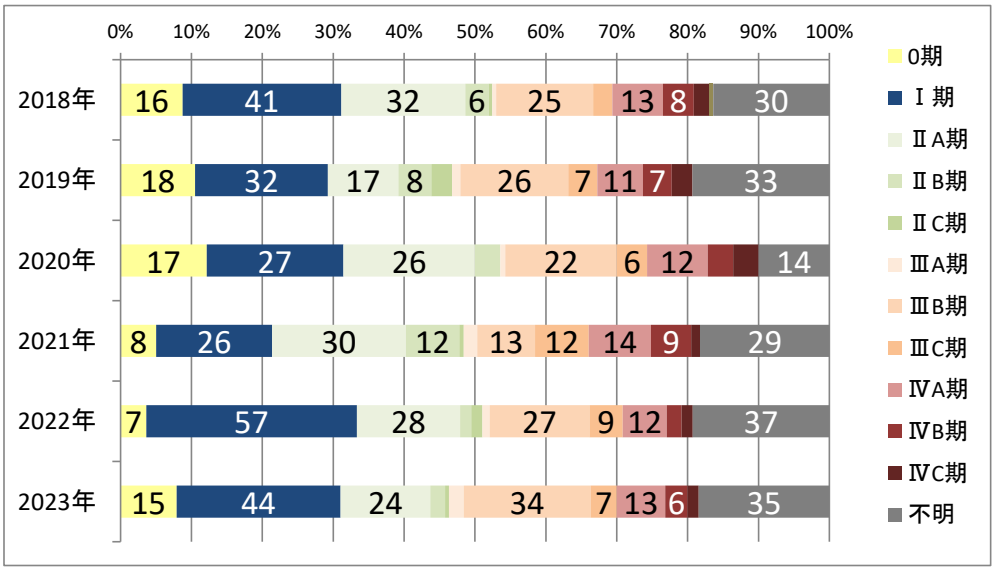
術後病期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	登録数の推移
ⅠA期	114	85	54	96	97	94	
ⅠB期	8	--	7	6	17	6	
ⅡA期	10	12	--	9	--	--	
ⅡB期	10	9	6	--	--	--	
ⅢA期	--	8	--	6	--	--	
ⅢB期	--	--	--	--	--	--	
ⅢC期	--	--	0	--	--	0	
Ⅳ期	8	7	8	--	--	--	
手術せず	23	23	12	29	22	23	
術前治療後	0	0	--	--	--	0	
不明	0	0	0	--	--	0	
総計	183	155	103	159	159	141	



≪大腸癌≫

大腸癌登録数（自施設初回治療、癌腫）：UICC−TNM分類　治療前ステージ別

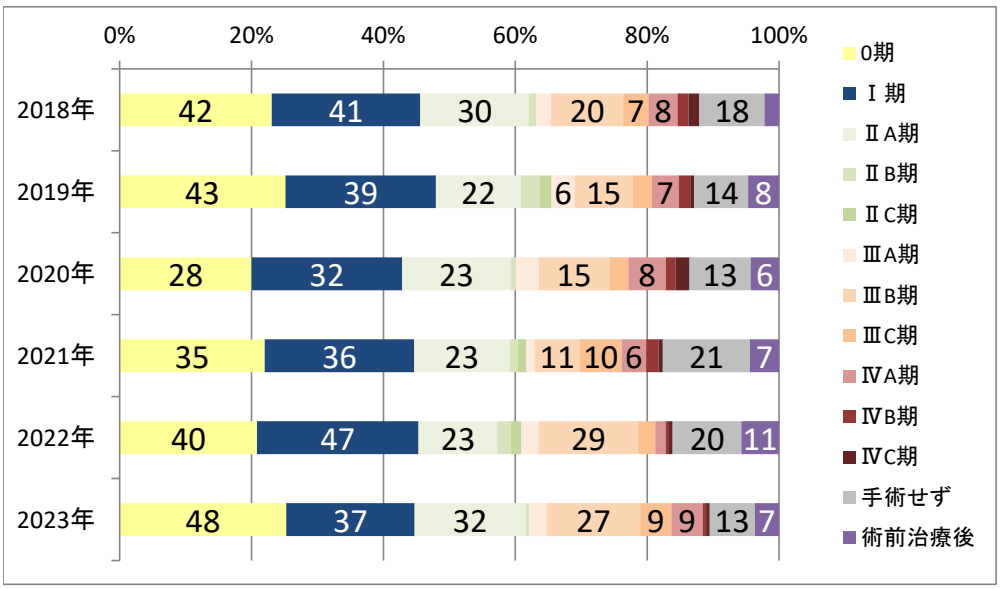
臨床病期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	登録数の推移
0期	16	18	17	8	7	15	
Ⅰ期	41	32	27	26	57	44	
ⅡA期	32	17	26	30	28	24	
ⅡB期	6	8	---	12	---	---	
ⅡC期	---	---	0	---	---	---	
ⅢA期	---	---	---	---	---	---	
ⅢB期	25	26	22	13	27	34	
ⅢC期	---	7	6	12	9	7	
ⅣA期	13	11	12	14	12	13	
ⅣB期	8	7	---	9	---	6	
ⅣC期	---	---	---	---	---	---	
不明	30	33	14	29	37	35	
総計	**182**	**171**	**140**	**159**	**192**	**190**	



≪大腸癌≫

大腸癌登録数(自施設初回治療、癌腫):UICC-TNM分類　術後病理学的ステージ別

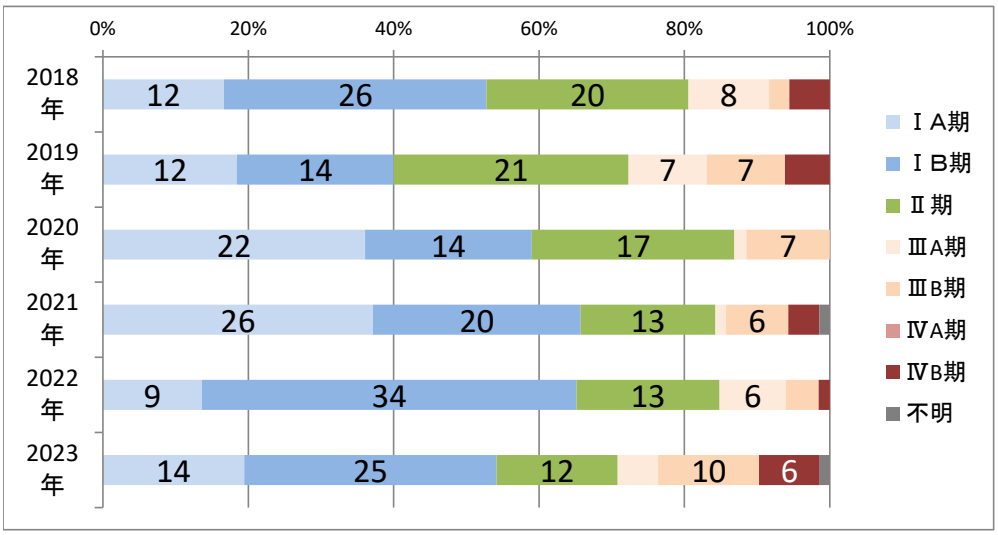
術後病期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	登録数の推移
0期	42	43	28	35	40	48	
Ⅰ期	41	39	32	36	47	37	
ⅡA期	30	22	23	23	23	32	
ⅡB期	---	---	---	---	---	---	
ⅡC期	0	---	0	---	---	0	
ⅢA期	---	6	---	---	---	---	
ⅢB期	20	15	15	11	29	27	
ⅢC期	7	---	---	10	---	9	
ⅣA期	8	7	8	6	---	9	
ⅣB期	---	---	---	---	---	---	
ⅣC期	---	---	---	---	---	---	
手術せず	18	14	13	21	20	13	
術前治療後	---	8	6	7	11	7	
総計	**182**	**171**	**140**	**159**	**192**	**190**	



≪肝細胞癌≫

肝細胞癌登録数（自施設初回治療）：UICC-TNM分類　治療前ステージ別

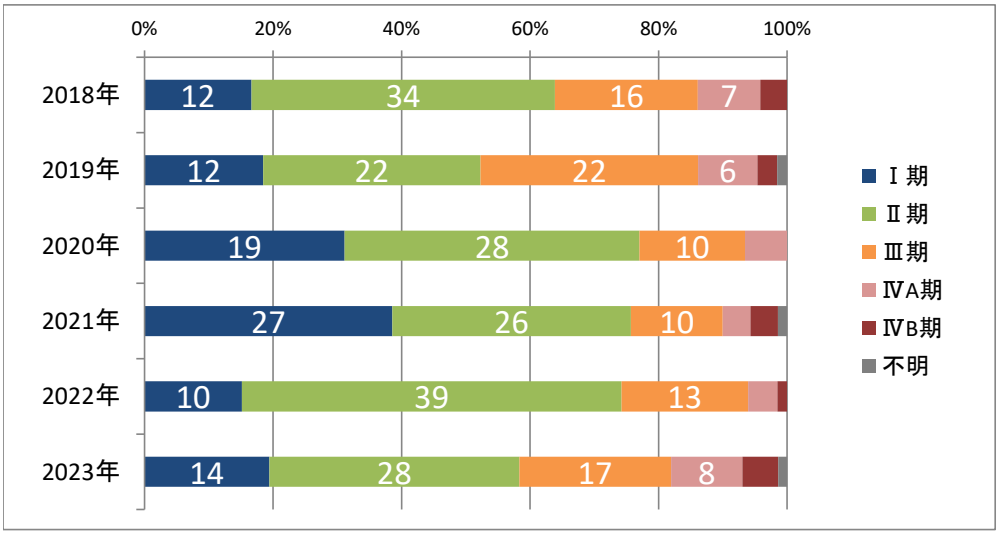
臨床病期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	登録数の推移
ⅠA期	12	12	22	26	9	14	
ⅠB期	26	14	14	20	34	25	
Ⅱ期	20	21	17	13	13	12	
ⅢA期	8	7	--	--	6	--	
ⅢB期	--	7	7	6	--	10	
ⅣA期	0	0	0	0	0	0	
ⅣB期	--	--	0	--	--	6	
不明	0	0	0	--	0	--	
総計	**72**	**65**	**61**	**70**	**66**	**72**	



≪肝細胞癌≫

肝細胞癌登録数（自施設初回治療）：取扱い規約第6版　治療前ステージ別

臨床病期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	登録数の推移
Ⅰ期	12	12	19	27	10	14	
Ⅱ期	34	22	28	26	39	28	
Ⅲ期	16	22	10	10	13	17	
ⅣA期	7	6	--	--	--	8	
ⅣB期	--	--	0	--	--	--	
不明	0	--	0	--	0	--	
総計	**72**	**65**	**61**	**70**	**66**	**72**	

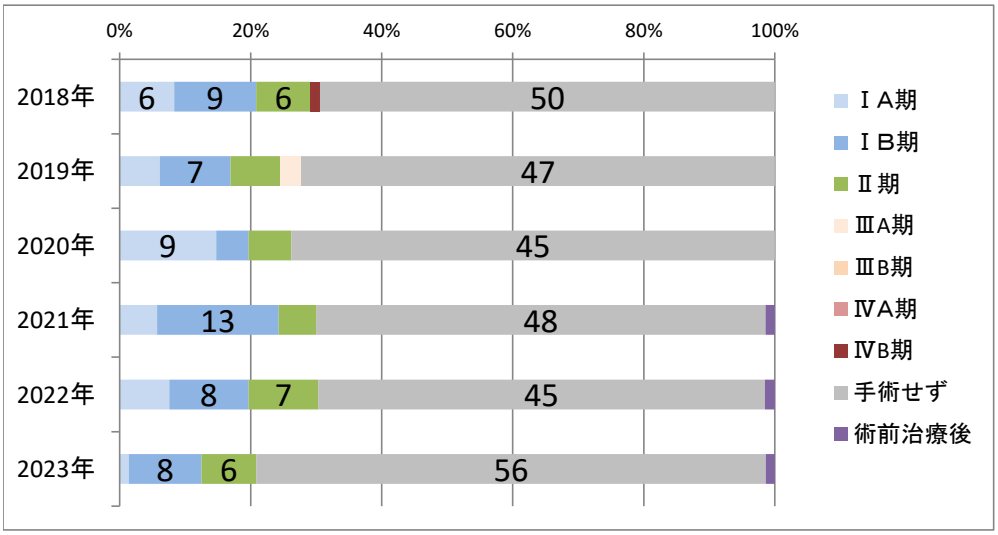


肝細胞癌は
取扱い規約
術前
ステージ
も
登録します

≪肝細胞癌≫

肝細胞癌登録数(自施設初回治療):UICC-TNM分類　術後病理学的ステージ別

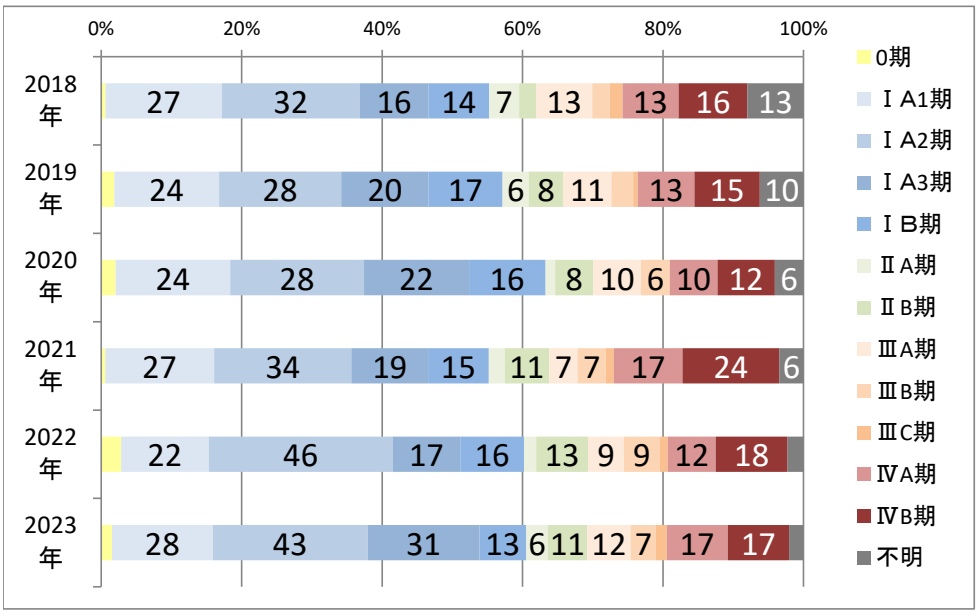
術後病期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	登録数の推移
ⅠA期	6	--	9	--	--	--	
ⅠB期	9	7	--	13	8	8	
Ⅱ期	6	--	--	--	7	6	
ⅢA期	0	--	0	0	0	0	
ⅢB期	0	0	0	0	0	0	
ⅣA期	0	0	0	0	0	0	
ⅣB期	--	0	0	0	0	0	
手術せず	50	47	45	48	45	56	
術前治療後	0	0	0	--	--	--	
総計	**72**	**65**	**61**	**70**	**66**	**72**	



≪肺（非小細胞癌）≫

肺非小細胞癌登録数（自施設初回治療、癌腫）：UICC-TNM分類　治療前ステージ別

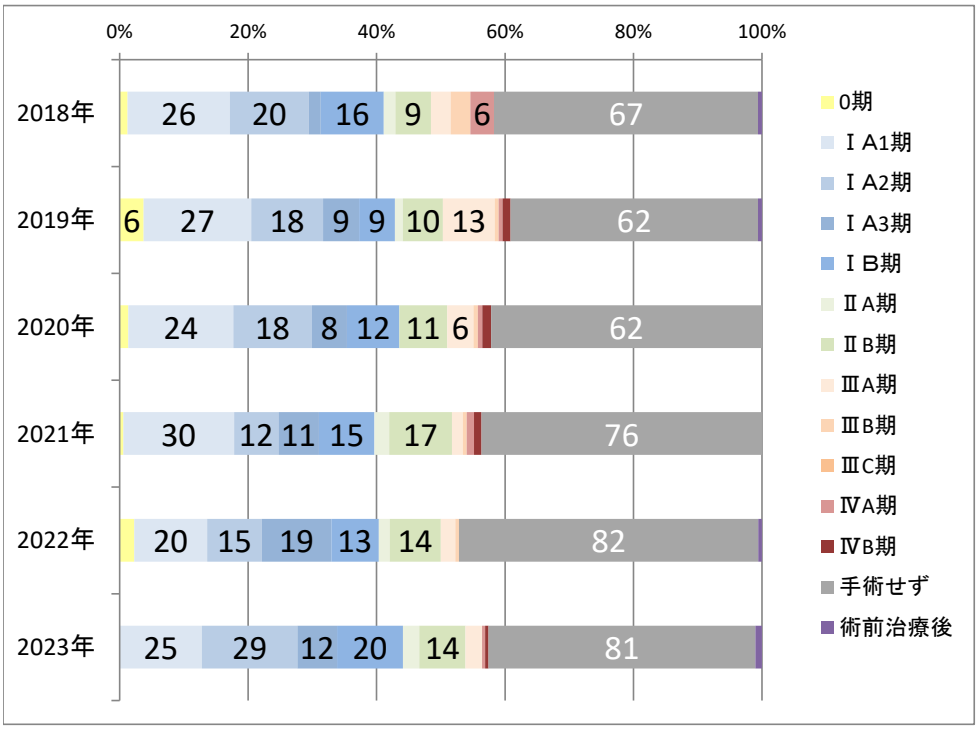
臨床病期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	登録数の推移
0期	---	---	---	---	---	---	
ⅠA1期	27	24	24	27	22	28	
ⅠA2期	32	28	28	34	46	43	
ⅠA3期	16	20	22	19	17	31	
ⅠB期	14	17	16	15	16	13	
ⅡA期	7	6	---	---	---	6	
ⅡB期	---	8	8	11	13	11	
ⅢA期	13	11	10	7	9	12	
ⅢB期	---	---	6	7	9	7	
ⅢC期	---	---	0	---	---	---	
ⅣA期	13	13	10	17	12	17	
ⅣB期	16	15	12	24	18	17	
不明	13	10	6	6	---	---	
総計	**163**	**161**	**147**	**174**	**176**	**195**	



≪肺(非小細胞癌)≫

肺非小細胞癌登録数(自施設初回治療、癌腫):UICC-TNM分類　術後病理学的ステージ別

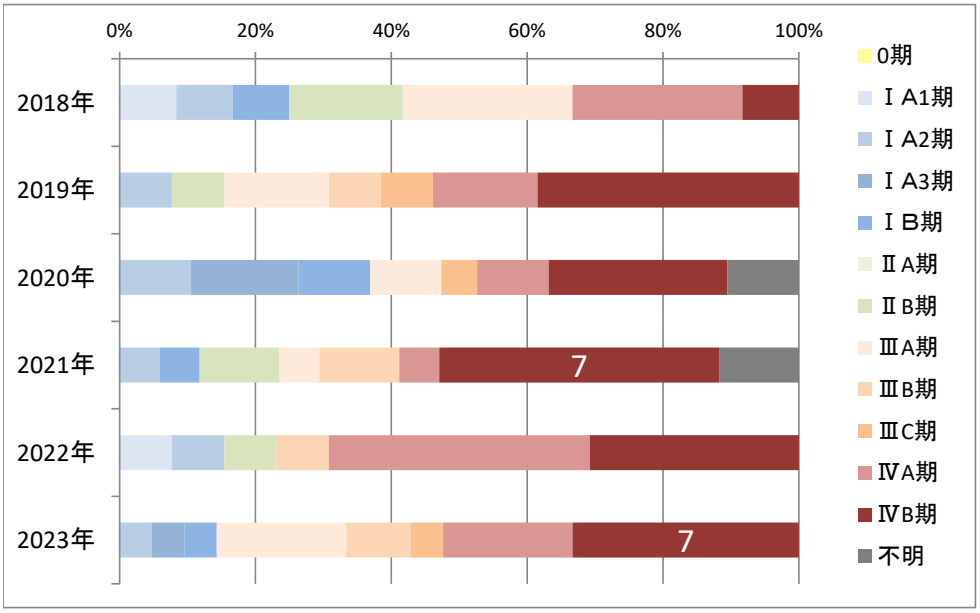
術後病期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	登録数の推移
0期	--	6	--	--	--	0	
ⅠA1期	26	27	24	30	20	25	
ⅠA2期	20	18	18	12	15	29	
ⅠA3期	--	9	8	11	19	12	
ⅠB期	16	9	12	15	13	20	
ⅡA期	--	--	0	--	--	--	
ⅡB期	9	10	11	17	14	14	
ⅢA期	--	13	6	--	--	--	
ⅢB期	--	--	--	--	--	0	
ⅢC期	0	0	0	0	0	0	
ⅣA期	6	--	--	--	0	--	
ⅣB期	0	--	--	--	0	--	
手術せず	67	62	62	76	82	81	
術前治療後	--	--	0	0	--	--	
総計	**163**	**161**	**147**	**174**	**176**	**195**	



≪肺（小細胞癌）≫

肺小細胞癌登録数（自施設初回治療、癌腫）：UICC-TNM分類　治療前ステージ別

臨床病期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	登録数の推移
0期	0	0	0	0	0	0	
ⅠA1期	--	0	0	0	--	0	
ⅠA2期	--	--	--	--	--	--	
ⅠA3期	0	0	--	0	0	--	
ⅠB期	--	0	--	--	0	--	
ⅡA期	0	0	0	0	0	0	
ⅡB期	--	--	0	--	--	0	
ⅢA期	--	--	--	--	0	--	
ⅢB期	0	--	0	--	--	--	
ⅢC期	0	--	--	0	0	--	
ⅣA期	--	--	--	--	--	--	
ⅣB期	--	--	--	7	--	7	
不明	0	0	--	--	0	0	
総計	**12**	**13**	**19**	**17**	**13**	**21**	

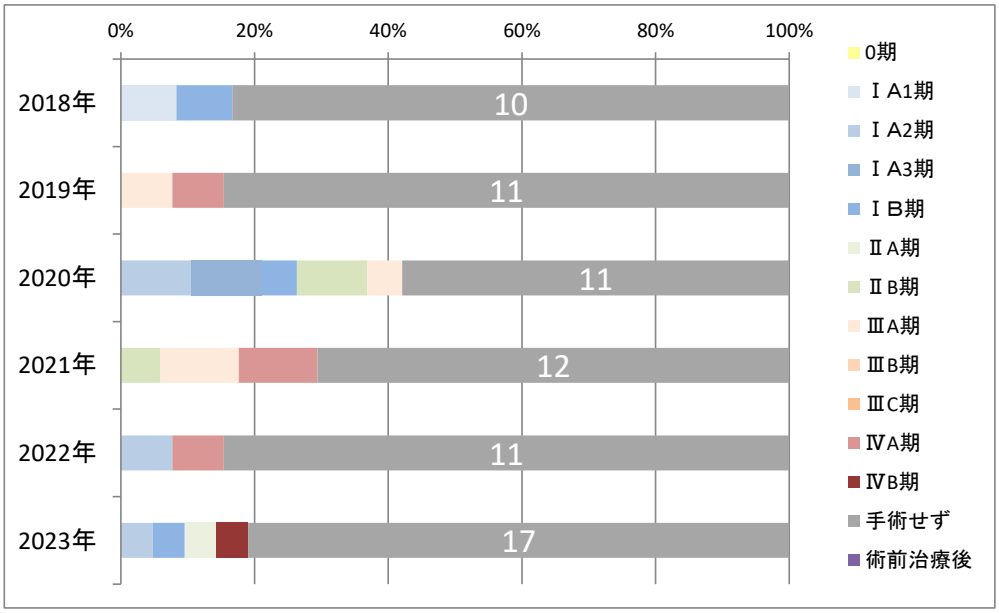


肺癌は
がん組織が
小細胞癌か
それ以外か
で治療方法
が変わる
ので
小細胞癌は
他と分けて
集計します

≪肺(小細胞癌)≫

肺小細胞癌登録数(自施設初回治療、癌腫):UICC-TNM分類　術後病理学的ステージ別

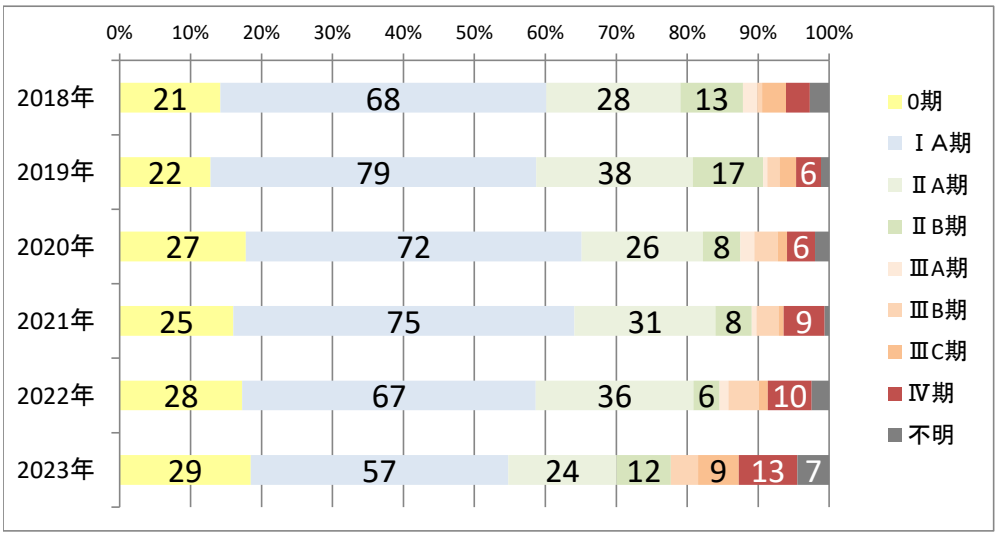
術後病期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	登録数の推移
0期	0	0	0	0	0	0	
ⅠA1期	--	0	0	0	0	0	
ⅠA2期	0	0	--	0	--	--	
ⅠA3期	0	0	--	0	0	0	
ⅠB期	--	0	--	0	0	--	
ⅡA期	0	0	0	0	0	--	
ⅡB期	0	0	--	--	0	0	
ⅢA期	0	--	--	--	0	0	
ⅢB期	0	0	0	0	0	0	
ⅢC期	0	0	0	0	0	0	
ⅣA期	0	--	0	--	--	0	
ⅣB期	0	0	0	0	0	--	
手術せず	10	11	11	12	11	17	
術前治療後	0	0	0	0	0	0	
総計	**12**	**13**	**19**	**17**	**13**	**21**	



≪乳癌≫

乳癌登録数(自施設初回治療、癌腫):施設、UICC-TNM分類　治療前ステージ別

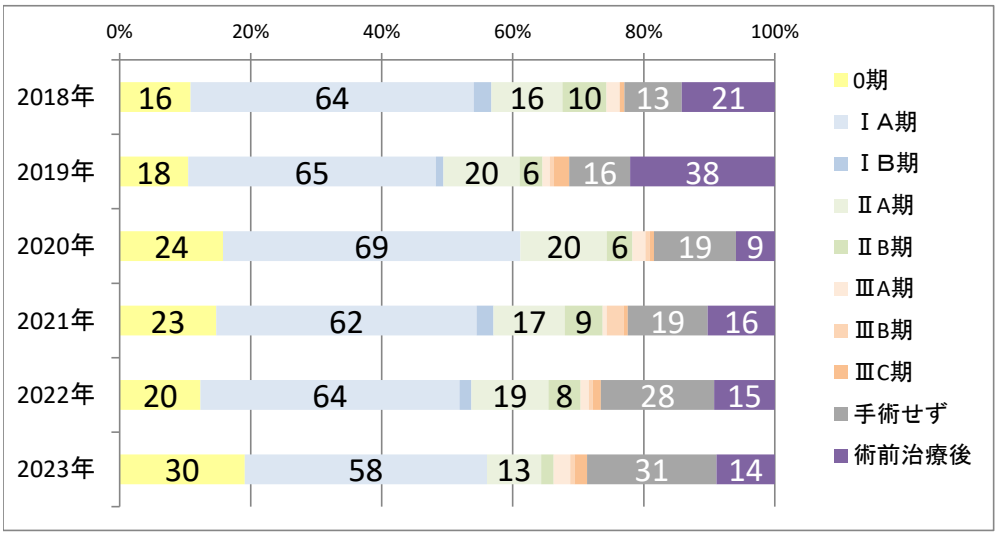
臨床病期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	登録数の推移
0期	21	22	27	25	28	29	
ⅠA期	68	79	72	75	67	57	
ⅡA期	28	38	26	31	36	24	
ⅡB期	13	17	8	8	6	12	
ⅢA期	--	--	--	--	--	0	
ⅢB期	--	--	--	--	7	6	
ⅢC期	--	--	--	--	--	9	
Ⅳ期	--	6	6	9	10	13	
不明	--	--	--	--	--	7	
総計	**148**	**172**	**152**	**156**	**162**	**157**	



≪乳癌≫

乳癌登録数(自施設初回治療、癌腫):施設、UICC-TNM分類　術後病理学的ステージ別

術後病期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	登録数の推移
0期	16	18	24	23	20	30	
ⅠA期	64	65	69	62	64	58	
ⅠB期	--	--	0	--	--	0	
ⅡA期	16	20	20	17	19	13	
ⅡB期	10	6	6	9	8	--	
ⅢA期	--	--	--	--	--	--	
ⅢB期	0	--	--	--	--	--	
ⅢC期	--	--	--	--	--	--	
手術せず	13	16	19	19	28	31	
術前治療後	21	38	9	16	15	14	
総計	**148**	**172**	**152**	**156**	**162**	**157**	



初回治療について

初回治療は
がんに対して行った　一連の治療　のうち
最初に治療を行った病院　の内容が　公表されます

手術は
開腹術・開胸術などは　外科的治療

腹腔鏡下・胸腔鏡下・ロボット支援下手術などは
鏡視下治療

胃カメラや大腸カメラによる切除などは
内視鏡治療

で登録されます

ここ数年で　体への負担が比較的少ない

鏡視下治療　が　外科的治療　よりも多く行われる
傾向がみられます

分子標的薬　や　免疫チェックポイント阻害薬　が
あたらしく　保険適応になったことで
化学療法　の数も　多くなってきています

日本では各種がん学会で定められた
取扱い規約や診療ガイドラインに基づいて
その患者さんに　現時点で最も適した治療　を行います

診療ガイドラインで最適とされる治療を
標準治療といいます

がんの種類や進行度によって　標準治療　は異なります

≪初回治療・全体・主要5部位≫　2016年～2023年

初回治療については「当院でそのがん種に対して最初の治療を行ったもの」に限って集計しています。
他院からの継続治療を行ったものは集計から除外しています。

＜例＞ 自施設で「がん」と診断。
当院で手術施行。
→ 初回治療集計対象

他施設で「がん」と診断。
内分泌療法後に放射線治療と計画。
他院で内分泌療法後に当院で放射線治療施行。
→ 初回治療では集計されません

当院で行った「初回に計画された一連の治療」について集計しています。
このため、１つの腫瘍に対し、複数の種類の初回治療を登録している場合があります。

＜例＞ 自施設で「がん」と診断。
化学療法後に外科的手術を計画。
当院で化学療法後、外科的手術施行。
→ 化学療法と外科的治療の両方を登録

主要５部位（胃・大腸・肝・肺・乳房）の集計は、
肉腫、リンパ腫、カルチノイド等は除外し、癌腫のみを集計対象としています。

集計数には上皮内がんも含まれます。

集計値が５以下の場合は「--」と表示しています。

上皮内がん は
血管やリンパ管が
豊富なところよりも
浅いところにある がん のため
転移が起こりづらく
ステージ0期の早期
のものを 指します

【初回治療情報について】

・初回治療に計画されていれば、浸潤・転移巣への治療も含まれます。
このため、一見すると腫瘍の部位と治療内容が合わないように思われるものがあります。

・ダヴィンチ手術は「鏡視下治療」に含まれます。

・膀胱癌の経尿道的膀胱腫瘍切除術（ＴＵＲ－ＢＴ）は「内視鏡的治療」に含まれます。

・胃癌、大腸癌の粘膜下層剥離術（ＥＳＤ）は「内視鏡的治療」に含まれます。

・頭頸部領域における「経鼻的」「経口的」治療は「内視鏡的治療」に含まれます。
（ただし下垂体腫瘍切除などのように腫瘍に到達するまでに切開を加えたものは
「鏡視下治療」に含まれます）

・経尿道的前立腺核出術（ＨｏＬＥＰ・ＴＵＥＢ）は「内視鏡的治療」に含まれます。

・2018年症例までは症状緩和目的の放射線治療は集計対象外です。

・前立腺癌の除睾術は内分泌療法に含まれます。

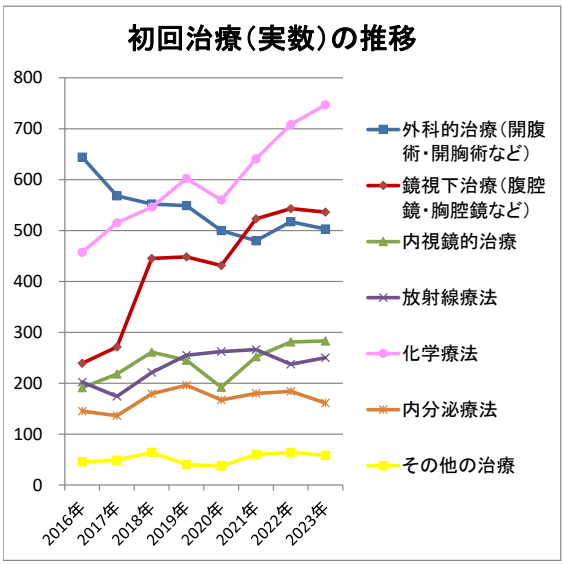
・肝細胞癌のラジオ波焼灼療法（ＲＦＡ）・肝動脈塞栓療法（ＴＡＥ）は「その他の治療」に含まれます。

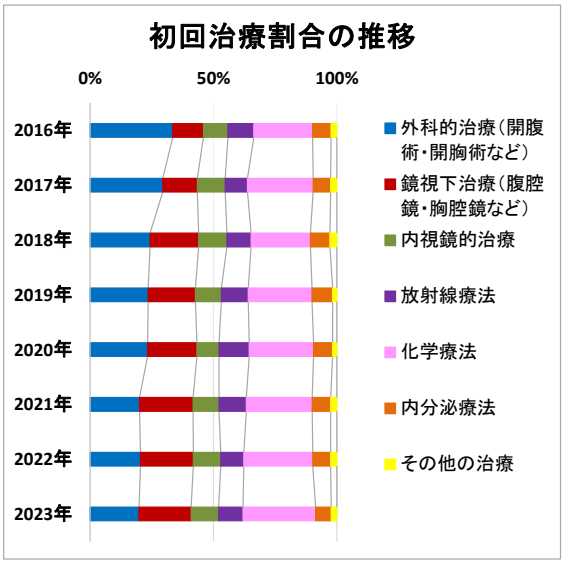
・肝細胞癌の肝動脈化学塞栓療法（ＴＡＣＥ）は「化学療法」「その他の治療」の両方に含まれます。

・膀胱癌のＢＣＧ療法は「その他の治療」に含まれます。

≪全体≫

初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療（開腹術・開胸術など）	644	568	552	549	500	480	517	503
鏡視下治療（腹腔鏡・胸腔鏡など）	239	271	445	448	431	523	543	536
内視鏡的治療	191	218	261	245	192	252	281	283
放射線療法	202	174	221	255	262	266	237	250
化学療法	457	515	546	602	560	641	708	747
内分泌療法	145	136	179	196	167	180	184	161
その他の治療	45	49	64	40	37	60	64	58
総数	**1,923**	**1,931**	**2,268**	**2,335**	**2,149**	**2,402**	**2,534**	**2,538**





【対前年増加率・初回治療】

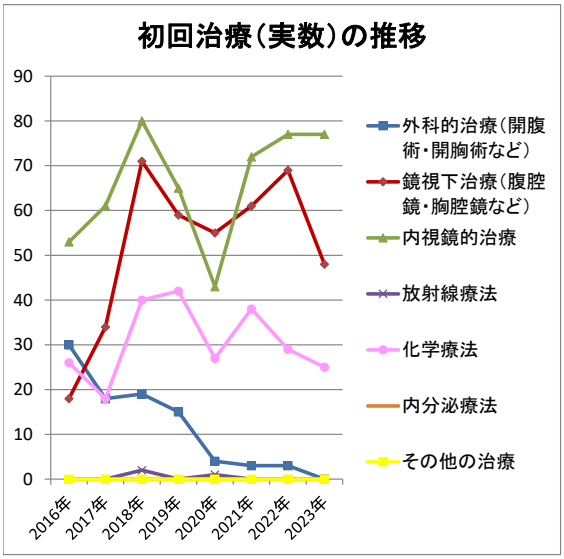
初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療（開腹術・開胸術など）		−11.8%	−2.8%	−0.5%	−8.9%	−4.0%	7.7%	−2.7%
鏡視下治療（腹腔鏡・胸腔鏡など）		13.4%	64.2%	0.7%	−3.8%	21.3%	3.8%	−1.3%
内視鏡的治療		14.1%	19.7%	−6.1%	−21.6%	31.3%	11.5%	0.7%
放射線療法		−13.9%	27.0%	15.4%	2.7%	1.5%	−10.9%	5.5%
化学療法		12.7%	6.0%	10.3%	−7.0%	14.5%	10.5%	5.5%
内分泌療法		−6.2%	31.6%	9.5%	−14.8%	7.8%	2.2%	−12.5%
その他の治療		8.9%	30.6%	−37.5%	−7.5%	62.2%	6.7%	−9.4%

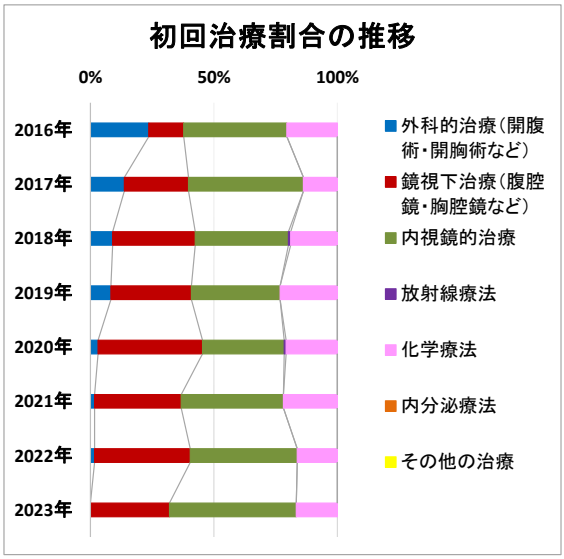
【治療情報について】
- 膀胱癌の経尿道的膀胱腫瘍切除術（ＴＵＲ－ＢＴ）は「内視鏡的治療」に含まれます。
- ダヴィンチ手術は「鏡視下治療」に含まれます。
- 胃癌、大腸癌の粘膜下層剥離術（ＥＳＤ）は「内視鏡的治療」に含まれます。
- 頭頸部領域における「経鼻的」「経口的」治療は「内視鏡的治療」に含まれます。
（ただし下垂体腫瘍切除などのように腫瘍に到達するまでに切開を加えたものは
「鏡視下治療」に含まれます）
- 経尿道的前立腺核出術（ＨｏＬＥＰ・ＴＵＥＢ）は「内視鏡的治療」に含まれます。
- 2018年症例までは症状緩和目的の放射線治療は集計対象外です。
- 前立腺癌の除睾術は内分泌療法に含まれます。
- 肝細胞癌のラジオ波焼灼療法（ＲＦＡ）・肝動脈塞栓療法（ＴＡＥ）は「その他の治療」に含まれます。
- 肝細胞癌の肝動脈化学塞栓療法（ＴＡＣＥ）は「化学療法」「その他の治療」の両方に含まれます。
- 膀胱癌のＢＣＧ療法は「その他の治療」に含まれます。

当院で行った「初回に計画された一連の治療」について集計しています。
このため、１つの腫瘍に対し、複数の種類の初回治療を登録している場合があります。

≪胃癌≫

初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療（開腹術・開胸術など）	30	18	19	15	--	--	--	0
鏡視下治療（腹腔鏡・胸腔鏡など）	18	34	71	59	55	61	69	48
内視鏡的治療	53	61	80	65	43	72	77	77
放射線療法	0	0	--	0	--	0	0	0
化学療法	26	18	40	42	27	38	29	25
内分泌療法	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の治療	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	**127**	**131**	**212**	**181**	**130**	**174**	**178**	**150**





【対前年増加率・初回治療】

初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療（開腹術・開胸術など）		-40.0%	5.6%	-21.1%	-73.3%	-25.0%	0.0%	-100.0%
鏡視下治療（腹腔鏡・胸腔鏡など）		88.9%	108.8%	-16.9%	-6.8%	10.9%	13.1%	-30.4%
内視鏡的治療		15.1%	31.1%	-18.8%	-33.8%	67.4%	6.9%	0.0%
放射線療法				-100.0%		-100.0%		
化学療法		-30.8%	122.2%	5.0%	-35.7%	40.7%	-23.7%	-13.8%
内分泌療法								
その他の治療								

【治療情報について】
・初回治療に計画されていれば、浸潤・転移巣への治療も含まれます。
このため、一見すると腫瘍の部位と治療内容が合わないように思われるものがあります。

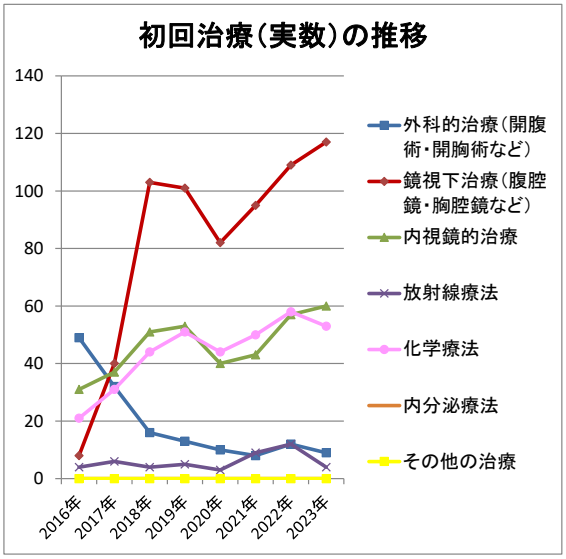
・粘膜下層剥離術（ＥＳＤ）は「内視鏡的治療」に含まれます。

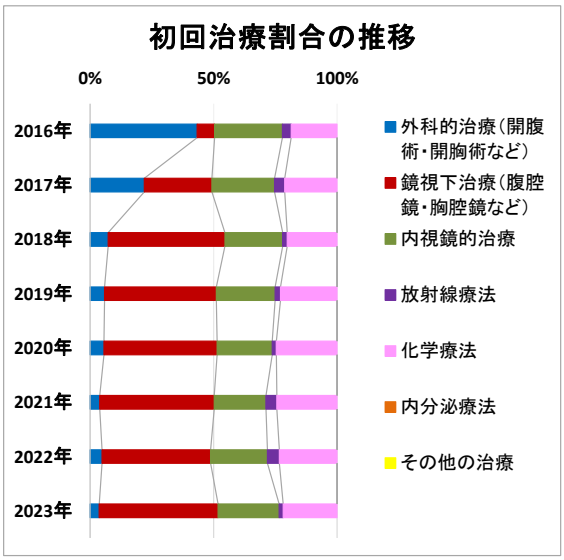
・2018年症例までは症状緩和目的の放射線治療は集計対象外です。

当院で行った「初回に計画された一連の治療」について集計しています。
このため、１つの腫瘍に対し、複数の種類の初回治療を登録している場合があります。

≪大腸癌≫

初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療(開腹術・開胸術など)	49	32	16	13	10	8	12	9
鏡視下治療(腹腔鏡・胸腔鏡など)	8	40	103	101	82	95	109	117
内視鏡的治療	31	37	51	53	40	43	57	60
放射線療法	--	6	--	--	--	9	12	--
化学療法	21	31	44	51	44	50	58	53
内分泌療法	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の治療	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	**113**	**146**	**218**	**223**	**179**	**205**	**248**	**243**





【対前年増加率・初回治療】

初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療(開腹術・開胸術など)		-34.7%	-50.0%	-18.8%	-23.1%	-20.0%	50.0%	-25.0%
鏡視下治療(腹腔鏡・胸腔鏡など)		400.0%	157.5%	-1.9%	-18.8%	15.9%	14.7%	7.3%
内視鏡的治療		19.4%	37.8%	3.9%	-24.5%	7.5%	32.6%	5.3%
放射線療法		50.0%	-33.3%	25.0%	-40.0%	200.0%	33.3%	-66.7%
化学療法		47.6%	41.9%	15.9%	-13.7%	13.6%	16.0%	-8.6%
内分泌療法								
その他の治療								

【治療情報について】
・初回治療に計画されていれば、浸潤・転移巣への治療も含まれます。
このため、一見すると腫瘍の部位と治療内容が合わないように思われるものがあります。

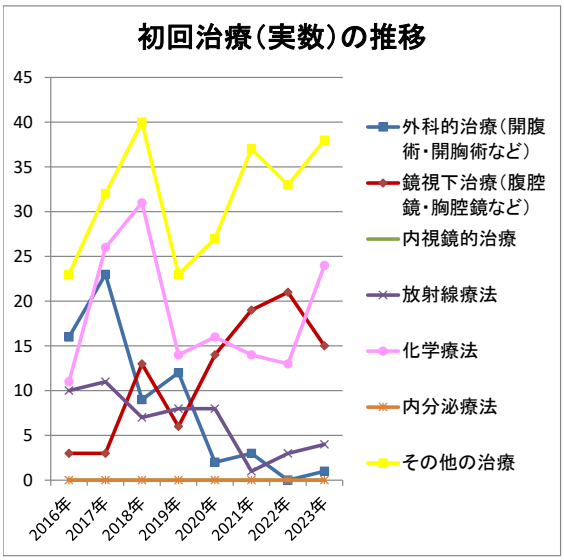
・粘膜下層剥離術（ＥＳＤ）は「内視鏡的治療」に含まれます。

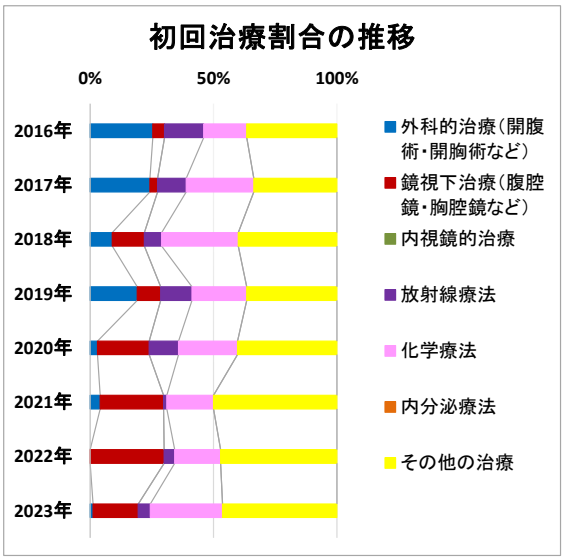
・2018年症例までは症状緩和目的の放射線治療は集計対象外です。

当院で行った「初回に計画された一連の治療」について集計しています。
このため、１つの腫瘍に対し、複数の種類の初回治療を登録している場合があります。

≪肝細胞癌≫

初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療（開腹術・開胸術など）	16	23	9	12	--	--	0	--
鏡視下治療（腹腔鏡・胸腔鏡など）	--	--	13	6	14	19	21	15
内視鏡的治療	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線療法	10	11	7	8	8	--	--	--
化学療法	11	26	31	14	16	14	13	24
内分泌療法	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の治療	23	32	40	23	27	37	33	38
総数	**63**	**95**	**100**	**63**	**67**	**74**	**70**	**82**





【対前年増加率・初回治療】

初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療（開腹術・開胸術など）		43.8%	-60.9%	33.3%	-83.3%	50.0%	-100.0%	
鏡視下治療（腹腔鏡・胸腔鏡など）		0.0%	333.3%	-53.8%	133.3%	35.7%	10.5%	-28.6%
内視鏡的治療								
放射線療法		10.0%	-36.4%	14.3%	0.0%	-87.5%	200.0%	33.3%
化学療法		136.4%	19.2%	-54.8%	14.3%	-12.5%	-7.1%	84.6%
内分泌療法								
その他の治療		39.1%	25.0%	-42.5%	17.4%	37.0%	-10.8%	15.2%

【治療情報について】

・初回治療に計画されていれば、浸潤・転移巣への治療も含まれます。
このため、一見すると腫瘍の部位と治療内容が合わないように思われるものがあります。

・2018年症例までは症状緩和目的の放射線治療は集計対象外です。

・ラジオ波焼灼療法（ＲＦＡ）・肝動脈塞栓療法（ＴＡＥ）は「その他の治療」に含まれます。

・肝動脈化学塞栓療法（ＴＡＣＥ）は「化学療法」「その他の治療」の両方に含まれます。

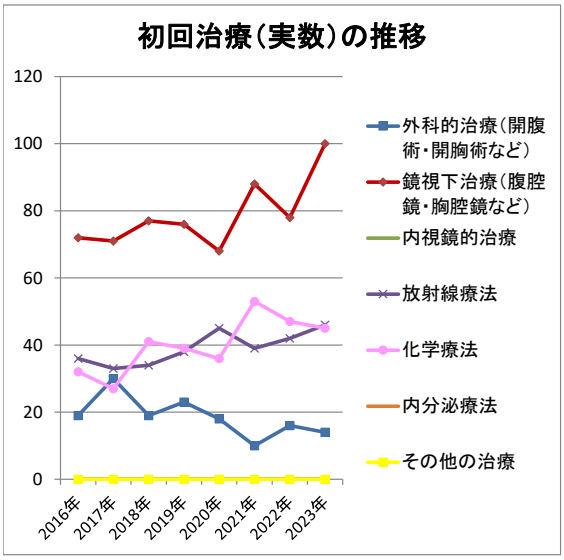
当院で行った「初回に計画された一連の治療」について集計しています。
このため、１つの腫瘍に対し、複数の種類の初回治療を登録している場合があります。

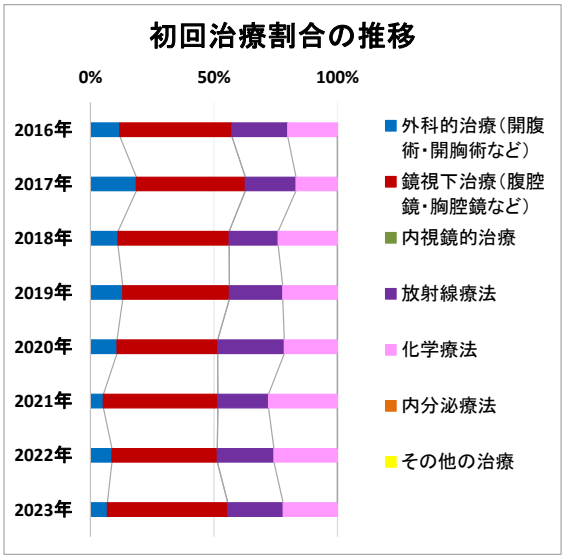
肝細胞癌　では
手術以外　にも
さまざまな治療法が
あります

≪肺(非小細胞癌・小細胞癌)≫

【非小細胞癌】

初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療(開腹術・開胸術など)	19	30	19	23	18	10	16	14
鏡視下治療(腹腔鏡・胸腔鏡など)	72	71	77	76	68	88	78	100
内視鏡的治療	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線療法	36	33	34	38	45	39	42	46
化学療法	32	27	41	39	36	53	47	45
内分泌療法	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の治療	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	**159**	**161**	**171**	**176**	**167**	**190**	**183**	**205**



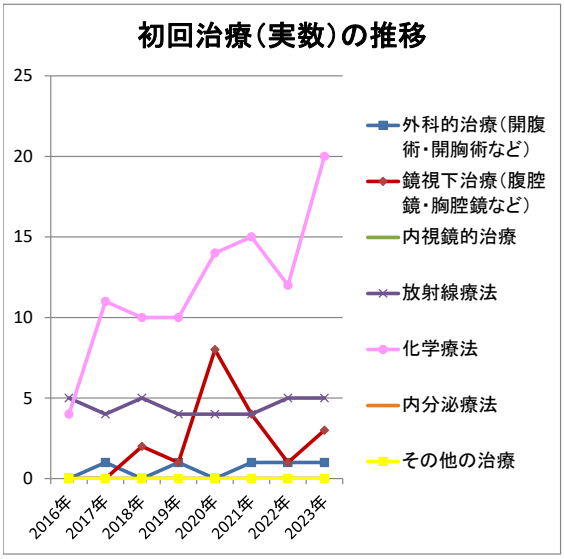


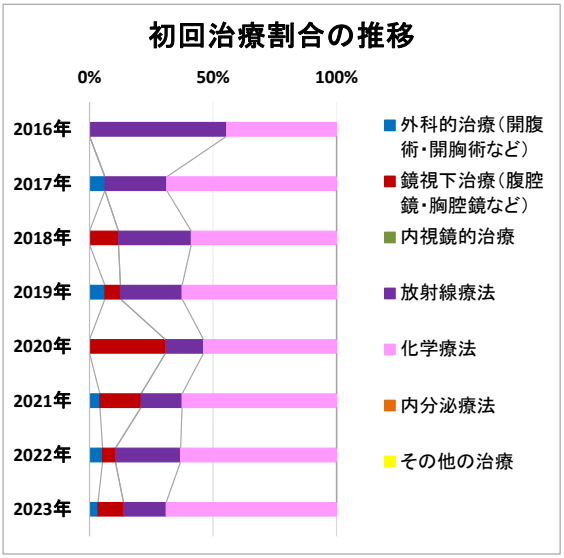
【対前年増加率・初回治療】

初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療(開腹術・開胸術など)		57.9%	−36.7%	21.1%	−21.7%	−44.4%	60.0%	−12.5%
鏡視下治療(腹腔鏡・胸腔鏡など)		−1.4%	8.5%	−1.3%	−10.5%	29.4%	−11.4%	28.2%
内視鏡的治療								
放射線療法		−8.3%	3.0%	11.8%	18.4%	−13.3%	7.7%	9.5%
化学療法		−15.6%	51.9%	−4.9%	−7.7%	47.2%	−11.3%	−4.3%
内分泌療法								
その他の治療								

【小細胞癌】

初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療(開腹術・開胸術など)	0	--	0	--	0	--	--	--
鏡視下治療(腹腔鏡・胸腔鏡など)	0	0	--	--	8	--	--	--
内視鏡的治療	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線療法	--	--	--	--	--	--	--	--
化学療法	--	11	10	10	14	15	12	20
内分泌療法	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の治療	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	**9**	**16**	**17**	**16**	**26**	**24**	**19**	**29**





【対前年増加率・初回治療】

初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療(開腹術・開胸術など)			-100.0%		-100.0%		0.0%	0.0%
鏡視下治療(腹腔鏡・胸腔鏡など)				-50.0%	700.0%	-50.0%	-75.0%	200.0%
内視鏡的治療								
放射線療法		-20.0%	25.0%	-20.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
化学療法		175.0%	-9.1%	0.0%	40.0%	7.1%	-20.0%	66.7%
内分泌療法								
その他の治療								

肺小細胞癌 では
化学療法 が
有効とされています

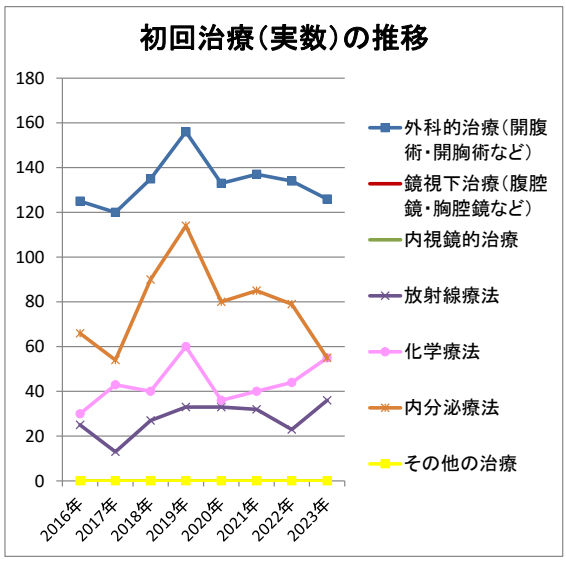
【治療情報について】
・初回治療に計画されていれば、浸潤・転移巣への治療も含まれます。
このため、一見すると腫瘍の部位と治療内容が合わないように思われるものがあります。

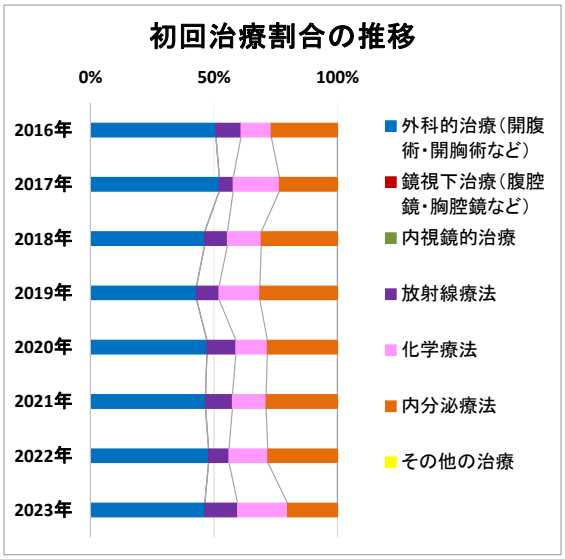
・2018年症例までは症状緩和目的の放射線治療は集計対象外です。

当院で行った「初回に計画された一連の治療」について集計しています。
このため、１つの腫瘍に対し、複数の種類の初回治療を登録している場合があります。

≪乳癌≫

初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療(開腹術・開胸術など)	125	120	135	156	133	137	134	126
鏡視下治療(腹腔鏡・胸腔鏡など)	0	0	0	0	0	0	0	0
内視鏡的治療	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線療法	25	13	27	33	33	32	23	36
化学療法	30	43	40	60	36	40	44	55
内分泌療法	66	54	90	114	80	85	79	55
その他の治療	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	**246**	**230**	**292**	**363**	**282**	**294**	**280**	**272**





【対前年増加率・初回治療】

初回治療	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外科的治療(開腹術・開胸術など)		-4.0%	12.5%	15.6%	-14.7%	3.0%	-2.2%	-6.0%
鏡視下治療(腹腔鏡・胸腔鏡など)								
内視鏡的治療								
放射線療法		-48.0%	107.7%	22.2%	0.0%	-3.0%	-28.1%	56.5%
化学療法		43.3%	-7.0%	50.0%	-40.0%	11.1%	10.0%	25.0%
内分泌療法		-18.2%	66.7%	26.7%	-29.8%	6.3%	-7.1%	-30.4%
その他の治療								

【治療情報について】
・初回治療に計画されていれば、浸潤・転移巣への治療も含まれます。
このため、一見すると腫瘍の部位と治療内容が合わないように思われるものがあります。

・2018年症例までは症状緩和目的の放射線治療は集計対象外です。

当院で行った「初回に計画された一連の治療」について集計しています。
このため、１つの腫瘍に対し、複数の種類の初回治療を登録している場合があります。

おわりに

院内がん登録は　まだまだ　活用の機会がありそうです

文字どおり病院の中でやっている「がん」の登録ではありますが
日本全国の病院で　厳格に定められたルールで　登録されることで
比較や分析を経て　現在はもちろん　将来のがん医療に役立てられます

データは　積み重ねていくことで　変化や傾向を見ることができます

積み重ねが大事なので　過去から最近のルールまで
すべてを説明すると　細かすぎて伝わりづらいです
ほんの一部ではありますが　イダイーず　とともに　ご紹介しました

今後とも　院内がん登録について　ご理解・ご協力を　お願いいたします

山梨大学医学部附属病院　院内がん登録　集計
制作　山梨大学医学部附属病院　がんセンター　がん登録部門
キャラクターデザイン　OMC

※イラストならびに文章を許可なく複製することを禁じます※

本集計データがみなさまにとって
一助となれば幸いです